

宮崎県立看護大学遠隔授業 に関するガイドライン (学生版) 【Ver1.0】

※情報はその都度更新されますので、こまめに確認して下さい。

令和2年7月1日

教務委員会

遠隔授業検討部会

目次

はじめに	- 1 -
1. 定義	- 1 -
2. 遠隔授業の特徴及び実施方法	- 2 -
(1) 同時双方向型授業について	- 2 -
(2) 動画配信型授業について	- 3 -
(3) 資料配信型授業について	- 3 -
(4) 自主学習中心型授業について	- 4 -
(5) 学習管理システム（LMS : Learning Management System）	- 4 -
3. 遠隔授業の留意事項	- 5 -
(1) 授業の受け方	- 5 -
(2) インターネット環境	- 7 -
(3) 遠隔授業の成績評価	- 7 -

はじめに

教育における ICT の利活用については、国の第 3 期教育振興基本計画(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)において、求められているところです。

また、令和 2 年の新型コロナウイルス感染症拡大では、本学においても面接授業開始が延期となるなどの影響があり、今度、第 2 波、第 3 波の到来が予測される中、登校が制限され面接授業が実施できない場合に備え、学生・教職員の健康と安全に配慮した対面方式によらない授業（以下「遠隔授業）」という。）が可能となるよう、対応を進めていく必要があります。

この度、宮崎県立看護大学（以下「本学」という。）では、遠隔授業を実施できる準備を整えました。これは、新型コロナウイルス感染症への対応としてだけではなく、大学における新しい学びの方法へのチャレンジでもあります。

本ガイドラインは、本学における、遠隔授業を授業の一部または全部に導入する場合の実施方法や留意点等について定めることを目的とします。

遠隔授業では、皆さんが授業に参加し、皆さんと教員が双方向に授業を展開していくことが大切です。本ガイドライン及び操作マニュアル等を参考にしながら受講しましょう。

1. 定義

①から④の類型を本学における遠隔授業と定義します。

遠隔授業は、①のように同時配信型の授業と②③④のように、学修時間を固定しないオンデマンド授業に分けられます。

①同時双方向型授業

教員と学生がインターネットを介して繋がった状況で、「同時かつ双方向」（リアルタイム）に音声や動画で行う授業。

②動画配信型授業

学生が、授業等の録画されたビデオを視聴し、終了後、課題等の提出やメール等で質問や議論を行う授業。

③資料配信型授業

ナレーション付きの講義資料(パワーポイント等)を視聴し、終了後、課題等の提出やメール等で質問や議論を行う授業。

④自主学習中心型授業

教科書、参考図書、講義資料による自習、課題研究などを中心として、終了後、課題等の提出やメール等で質問や議論を行う授業。

2. 遠隔授業の特徴及び実施方法

(1) 同時双方向型授業について

【特徴】

- ・「同時かつ双方向」が特徴です。
- ・履修場所は問いません。自宅や学内(講義室や情報処理室など)でも履修が可能です。
- ・授業前に Teams を確認するなど、事前確認を行う必要があります。
- ・あらかじめ決められた時間(時間割)に行われます。
- ・通信容量が多くなります。

【実施の流れ】

開始前に、リハーサルが行われます。

1. 教員から講義資料や授業等の知らせ(メール)が届く。
2. 接続確認をする。

3. 指定の時間に参加する。質問があればチャットや発言を行う。
4. 課題等を提出する。
5. 教員からフィードバックを受ける。

(2) 動画配信型授業について

【特徴】

- ・「同時かつ双方向」ではありません。「オンデマンド授業」です。
- ・自由な時間に履修が可能です。
- ・通信容量が多くなります。

【実施の流れ】

1. 教員が動画を公開する。

※動画の配信は、当該セメスタ内の時間割で開講する曜日・時間までに公開されます。

2. 動画を視聴し、学習する。
3. 質問や課題等を提出する。
4. 教員からフィードバックを受ける。

(3) 資料配信型授業について

【特徴】

- ・「同時かつ双方向」ではありません。「オンデマンド授業」です。
- ・自由な時間に履修が可能です。

【実施の流れ】

1. 教員から課題等の指示を受ける。
2. 資料等をダウンロードしたり、内容を確認しながら学習する。

3. 質問や課題等を提出する。
4. 教員からフィードバックを受ける。

(4) 自主学習中心型授業について

【特徴】

- ・「同時かつ双方向」ではありません。「オンデマンド授業」です。
- ・自由な時間に履修が可能です。

【実施の流れ】

1. 教員から課題等の指示を受ける。
2. 自主学習する。
3. 質問や課題等を提出する。
4. 教員からフィードバックを受ける。

(5) 学習管理システム (LMS : Learning Management System)

LMS は、教材の提示、履修者と教員の双方向の連絡手段の設定など、遠隔授業を行う上で必要な情報を統合管理するプラットフォームのことです。

本学では、全学的に運用する LMS として、「Microsoft Teams」、「ActiveAcademy」を指定します。

それ以外の方法、手段を利用する場合は、科目責任教員から指示がありますので、それに従ってください。

大学では、遠隔授業に学生個人の SNS アカウント等の利用させることは禁止しています。

遠隔授業受講にあたっては、本学のメールアドレス (@mpu.ac.jp ドメインのメールアドレス) を使用して下さい。

遠隔授業は、1 科目に 1 つの方式のみしか使用しないわけではなく、授業内容に応じて複数の方式を組み合わせで行われる場合もあります。

3. 遠隔授業の留意事項

(1) 授業の受け方

○教員による事前のガイダンス等において、授業の目的、目標、教材・課題に取り組むにあたっての留意点、講義計画、評価方法などを確認してください。

ア. 同時双方向型授業

- ① 同時双方向型授業は、原則、時間割で割り当てられた曜日・時限に実施します。
- ② 同時双方向型授業は、前日までに受講に必要な情報を連絡します。
- ③ 事前に通信環境について接続のテストを行う場合があります。
- ④ 同時双方向型授業は、時に配信トラブル等があることが予想されます。その場合、やむを得ず休講となる場合があります。
- ⑤ 同時双方向型授業を正当な理由により受講できなかった場合は、科目責任教員に相談して下さい。ただし、自己の過失(充電が切れた等の個人的な理由)による場合は対応しません。

イ. オンデマンド授業

- ① 動画配信型授業、資料配信型授業、自主学習中心型授業等については、当該セメスタの時間割で開講する曜日・時間までには動画の閲覧、資料の取得が可能となるよう準備します。課題等の提出期限は余裕を持って設定しますので、余裕を持ってダウンロードをしたり、内容を確認するなどしてください。

ウ. 質問、意見交換

質問や意見交換は、積極的に行ってください。

メールやチャットを利用した質問や意見交換は、講義時間外にも行えますが、早朝(午前8時以前)や深夜(午後9時以降)及び休日は避けて下さい。

エ. 受講時のトラブル

- ① アクセスの集中等、不測の事態により、遠隔授業の実施そのものが困難になることや通信環境が突発的に不安定になることも予想されます。科目責任教員の指示に従うとともに、何かあれば、科目責任教員に相談して下さい。
- ② 動画や資料が見にくい等あれば、科目責任教員に相談して下さい。

オ. 自宅での学修習慣

遠隔授業の場合も、時間割どおり学修するなど、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

カ. 不正行為の防止

- ① 遠隔授業において、代返やその他不正な方法で、受講したり、遠隔授業への不正アクセスなど授業を妨害するような行為などを行ってはいけません。
- ② 授業へのリンク (URL) / ID / パスワードを他人と共有してはいけません。

キ. 著作権と個人情報

- ① 授業の様子を写真に撮り、それを SNS など共有すること、授業で配布された資料等を担当教員の許可なく再配布することは禁止です。
- ② 授業で配布された音声ファイル、動画・画像ファイル、教材、資料など授業に関するもの及び受講者の氏名、学籍番号などの個人情報等を SNS や掲示板などインターネット上へのアップロード、他者への送信、外部漏洩してはいけません。
- ③ 双方向型の遠隔授業では、自分からの発信が他の受講者にも見られることを認識し自分自身の個人情報の管理に十分気をつけましょう。
- ④ 遠隔授業の録画、録音は禁止します。

録画、録音したものを、インターネット等に配信した場合、著作権や個人情報保護法等の点で問題になる場合があります。

個人での動画・録音の所有もトラブルになる場合があるので、絶対に行わないようにして下さい。

ただし、教員から許可があった場合は、この限りではありません。

（２）インターネット環境

- ① パソコンやインターネット環境の整備ができない学生は、情報処理室やLL 教室の利用が可能です。

BCP レベル 4 以上の場合は、「施設使用許可書」を事務局に提出してください。

それ以外の場合は、それぞれの教室の利用方法を確認して下さい。

- ② 遠隔等授業を受けるとき（特に動画等の受信の場合）、多くのデータ容量を消費してしまう可能性があります。自宅等でインターネット回線などの固定回線を設置していない場合、通信端末（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）の契約条件を確認するようにして下さい。

（インターネットをスマートフォンのテザリングで利用している場合、データ容量が多くなる可能性があります。）

- ③ 複数の通信事業者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的に遠隔授業やオンライン学習を実施している状況を踏まえ、学生の通信環境を確保するため、データ容量追加の無償化などの特別な通信サービスを提供しています。通信事業者のウェブサイトなどを確認して下さい。

また、このようなサービスは、通信事業者がオンライン授業の利用等を支援するために特別に行っていることが多く、期間限定のサービスである可能性があります。利用条件等を確認するようにして下さい。

（３）遠隔授業の成績評価

出席は、「Microsoft Teams」「ActiveAcademy」等を活用し、授業への参加確認や授業ごとに課される課題等の提出、動画の視聴やダウンロード等の方法で確認します。試験は、登校しての筆記試験やオンラインテスト、その他の方法で実施されます。シラバス及び講義時に配付される授業計画に示された、評価規準・基準にそって、公平、厳格に評価されますので、よく確認して下さい。